

令和6年度第1回成田市環境審議会

【令和6年8月2日（金）】

環境審議会委員からの意見及び回答 （成田市の環境）

成田市環境部

番号	委員名	資料名
1	藤村 葉子 委員	成田市の環境 2023(令和 5)年版について
該当頁	第 1 頁	
【意見・質問】 図 1-1-1 成田市全図の中に成田市役所の場所を示してはどうですか？		
【回答】 今年度作成する際に、ご指摘の通り追記いたします。		

番号	委員名	資料名
2	藤村 葉子 委員	成田市の環境 2023(令和 5)年版について
該当頁	第 2 頁	
【意見・質問】 図 1-1-2 地勢等高線図概況の中央の「成田市」の文字が見にくいのもっと濃く、大きく示してはどうですか？		
【回答】 図は国土地理院の地図を加工しており、図中の字を編集することが不可能となっております。今年度作成する際に、市名を図上に追記する形で修正いたします。		

番号	委員名	資料名
3	藤村 葉子 委員	成田市の環境 2023(令和 5)年版について
該当頁	第 4 頁	
【意見・質問】 産業の 1 行目「2015 年の就業人口は」とありますが、令和 5 年の報告書であり、表にも 2020 年のデータがあるので、「2020 年の就業人口は」と述べてはどうですか？ また、6 行目の「2015 年には」から始まる文章も「2020 年には」と述べてはどうですか？		
【回答】 今年度作成する際に、ご指摘の通り 2020 年のデータを基にした文章へ修正いたします。		

番号	委員名	資料名
4	中山 明子 委員	成田市の環境 2023(令和 5)年版について
該当頁	第 11 頁	

【意見・質問】

廃棄物減量等推進員の存在は知っていますが、自治会の役員になって役を振られてやっている方もいるので、あまり積極的に活動していないのではないのでしょうか？

【回答】

廃棄物減量等推進員につきましては、ごみの分け方・出し方の啓発指導、じんかい集積所の設置及び管理指導、ごみ減量器具の普及啓発、リサイクル運動の啓発及び指導、地域の環境美化に関することなど、地域でのごみ処理に関する全体的な活動をお願いしております。

また、推進員としての活動について、知識を深め、地域のごみ問題をより身近に感じていただくために、年 2 回勉強会を開催し、ごみ分別のほか、他の自治会の推進員が行っている活動例などを紹介しております。

推進員の皆様には、活動終了後に活動報告書を提出していただき、多くの方が地域住民への排出指導や集積所の巡回、清潔保持や分別の徹底など、年間 20 回程度活動していただいております。各地域における実情に応じて活動していただいておりますが、引き続き勉強会などの機会を通じて減量等推進員の活動を推進してまいります。

番号	委員名	資料名
5	藤村 葉子 委員	成田市の環境 2023(令和 5)年版について
該当頁	第 19 頁	

【意見・質問】

表 1-3-2 実施状況の推移の表ですが、左の環境学習会の欄の一つ目の下に（親子見学会）と入れてはどうですか？

【回答】

今年度作成する際に、ご指摘の通り追記いたします。

番号	委員名	資料名
6	中山 明子 委員	成田市の環境 2023(令和 5)年版について
該当頁	第 39 頁	
【意見・質問】 酸性雨についてですが、表にある幡谷測定局においてはここ 10 年ずっと PH4.3～5.2 というかなりの酸性雨が Continuing していますが、環境に影響はないのでしょうか？ 例えば、農作物や健康被害など調査は行われているのでしょうか？		
【回答】 農作物や健康被害調査は行っておりません。 県のデータでは、市原、習志野、銚子、一宮の平均値は 4.9 から 5.7 となっています。文献等によると P H4.0～5.0 の弱酸性では農作物及び森林への影響は無いと言われております。 また、健康被害について県等より酸性雨に対して指導等はないと聞いています。		

番号	委員名	資料名
7	中山 明子 委員	成田市の環境 2023(令和 5)年版について
該当頁	第 51 頁	

【意見・質問】

大腸菌数は 13 地点で環境基準を達成していないとあります。それに対し宝田小橋については 2021, 2022 年にかなり改善が見られます。その原因と対策は？

【回答】

原因は特定できておりません。令和 4 年 4 月より水質の糞便汚染に関する指標が「大腸菌群数」から「大腸菌数」に改正されたため、検出される値も令和 3 年以前と異なる傾向にあります。今後の対策としては、引き続き調査を実施し、今後もその推移を監視してまいります。

番号	委員名	資料名
8	中山 明子 委員	成田市の環境 2023(令和 5)年版について
該当頁	第 55 頁	

【意見・質問】

東総有料道路下では、大腸菌数が非常に高いのですが原因調査は行われているのでしょうか。わかっていれば原因と対策についての現状は？

【回答】

原因は特定できておりません。東総有料道路下での水質調査につきましては、年 1 回の調査となり、令和 4 年度調査においては、生活雑排水等により大腸菌数の値が高いタイミングで採水した可能性があります。今後の対策としては、引き続き調査を実施し、今後もその推移を監視してまいります。

番号	委員名	資料名
9	藤村 葉子 委員	成田市の環境 2023(令和 5)年版について
該当頁	第 57 頁	

【意見・質問】

水質についての疑問ですが、宝田小橋の BOD 等と馬洗橋の大腸菌数が非常に高いのですが、原因など調べていましたら、お教えてください。

【回答】

宝田小橋の水質については、小橋川に天然ガスかん水採取に伴う排水が流入していることが原因と思われます。天然ガスかん水は有機物や塩化物イオン、アンモニア性窒素を多く含んでいるため、その排水を多く含んだ河川水質につきましても、BOD、COD、電気伝導率、アンモニア性窒素の値が高くなる傾向にあると思われます。

馬洗橋での大腸菌数についてですが、表 2-2-7 は 90%値を示すものであり、各地点での測定回数は 6 回であることから、いずれの地点も 6 回中の最大の測定値を示しています。

具体的には、馬洗橋では、

1 回目	2 回目	3 回目	4 回目	5 回目	6 回目
130	240	20,000	140	1,300	210

であり、4 回は環境基準内の数値でした。

20,000 という高い数値が出た理由はわかりませんが、何らかの要因（例えば、近くで一時的に汚濁物質が流入したなど）でこのような値となった可能性が考えられます。

番号	委員名	資料名
10	中山 明子 委員	成田市の環境 2023(令和 5)年版について
該当頁	第 61 頁	

【意見・質問】

この表（2022（令和）4 年度市内主要河川の年平均値（その他の項目））にある塩化物イオンの数値で 3 か所が 1000mg/L を超えています。その原因と対策は？

【回答】

小橋川及び根木名川に天然ガスかん水採取に伴う排水が流入していることが原因と思われます。天然ガスかん水は有機物や塩化物イオン、アンモニア性窒素を多く含んでいるため、その排水を多く含んだ河川水質につきましても、BOD、COD、電気伝導率、アンモニア性窒素の値が高くなる傾向にあると思われます。今後の対策としては、引き続き調査を実施し、今後もその推移を監視してまいります。

番号	委員名	資料名
11	中山 明子 委員	成田市の環境 2023(令和 5)年版について
該当頁	第 68 頁	
【意見・質問】 川底の調査結果が出ていますが、放射性物質の調査はなされていないのでしょうか？ カドミウム・総水銀・ヒ素・鉛・PCB が基準値以上のところが多いです。 その原因と対策はどうなっていますか？		
【回答】 本市では河川底質の放射性物質調査を実施しておりませんが、東日本大震災以降、国及び千葉県で実施しており、生活環境に影響のない値で推移しております。 国が定めている底質の環境基準はダイオキシンのみとなります。総水銀と PCB につきましては、暫定除去基準が定められており、調査結果では基準値を下回っております。 カドミウム、砒素、鉛においては「土対法に基づく調査及び措置に関するガイドライン」の中で自然由来の汚染と判断する際の含有量の上限値の目安とされている数値より下回っております。今後の対策としては、引き続き調査を実施し、今後もその推移を監視してまいります。		

番号	委員名	資料名
12	中山 明子 委員	成田市の環境 2023(令和 5)年版について
該当頁	第 72 頁	

【意見・質問】

表 2-2-13 印旛沼の測定結果は水道 3 級(P48, 49)の基準を大幅に超えています。この数値が取水口下であることから、我々はここからくみ取った水を浄化して飲んでいるということですか？

【回答】

成田市の上水道は利根川から取水した水と地下水を用いており、印旛沼の水は使用しておりませんが、県営水道では印旛沼から取水した水を高度浄化処理施設で処理し、安全でおいしい水を作っているとのことです。

番号	委員名	資料名
13	中山 明子 委員	成田市の環境 2023(令和 5)年版について
該当頁	第 77 頁	

【意見・質問】

地下水の水質検査項目は 28 項目ですが、上水道の水質検査項目は何項目あるのでしょうか？

【回答】

上水道の水質検査項目数は 51 項目です。

番号	委員名	資料名
14	中山 明子 委員	成田市の環境 2023(令和 5)年版について
該当頁	第 77 頁	
【意見・質問】 大腸菌数については検査されていますが、ウイルスについては調査されているのでしょうか？		
【回答】 ウイルスについては調査しておりません。		

番号	委員名	資料名
15	藤村 葉子 委員	成田市の環境 2023(令和 5)年版について
該当頁		
【意見・質問】 今話題の有機フッ素化合物について、地下水などの調査は行っていませんでしょうか？今後調査を行う予定はありますか？		
【回答】 令和2年及び3年に国、県が行った調査結果では、成田市内の調査地点において、最も高い値でも 18ng/L であり、国が定めた暫定目標値である 50ng/L を下回っておりますことから、市内において環境へ影響がある排出源はないものと考えており、河川及び地下水の水質調査において市単独での PFAS の調査は現時点では予定しておりません。現在、上水道及び簡易水道では年1回調査を行っております。また、今年度、国より専用水道における調査依頼を受けて環境衛生課で専用水道設置者に依頼をしております。		